

県民全体で支える介護を目指して

沖縄県介護実習・普及センター

10月1日は福祉用具の日

記念講演会を開催

平成5年10月に施行された「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律（福祉用具法）」によって、呼び名が「福祉機器」等から「福祉用具」に統一とされました。それを記念して10月1日が「福祉用具の日」として制定されました。

沖縄県介護実習・普及センターは、介護の知識や技術を普及啓発に努めていますが、福祉用具のさらなる普及を図るため、10月1日の「福祉用具の日」を記念して、講演会を左記の日程で開催します。



センターに展示されている福祉用具



福祉用具で安心安全な介護

多くの皆様が参加していただきますようにご案内します。

日時 平成17年10月1日（土）
午後1時30分～3時
場所 沖縄県総合福祉センター
東棟1階ゆいほーる
演題 「改正介護保険法と福祉用具の展望（仮題）」
講師 財団法人テクノエイド協会
常務理事 村尾 俊明 氏

入浴介護実習室がオープン

トイレ・入浴の実習が可能に

6月29日、県総合福祉センターに入浴介護実習室がオープンし、開所式が行われました。

この実習室にはバリア（段差のある）とバリアフリーの2つの環境でトイレと浴室が再現され、それぞれの環境でトイレ介助・入浴介助を体験することが出来ます。

また、入浴介助に関しては実際にお湯を使用する実習も可能となりました。このことにより、より実際の介護の場面に近づけた実習ができるようになりました。



オープニングセレモニーにて



入浴実習の様子

また、設備にはいたるところに工夫がみられ、車いすに乗った状態からでも介助の様子が観察できるよう仕切りを低くしたり、透明なパネルを使用するなど、介護技術のポイントが伝わりやすい設計となっている。さらに、ベッドからの移乗が困難な人をリフトを使って室内を移動する装置も設置され、実習が行えるようになっています。

県介護実習・普及センターでは、これまで県民を対象に介護技術習得のための講座を開講してきましたが、同実習室を活用することにより、さらに充実した内容の講座が期待できます。

介護講座、介護教室に関する問合せは、県介護実習普及センター
☎098-882-1148まで。

はあとふるケア

杖歩行介助で気をつけたいこと何？

（事例をとおして考えてみよう。右手に杖をついている場合）

* 介助で気をつけることは、介助される方のベースに合わせる。

* 人間の歩行による身体の動きを考え、無理のない介助を心がける。

* ズボンをつかむことは介助される方に不快感を与えることも考慮してください。

（1）平坦な路面の場合

①杖を持つ場合
介助される方の杖をもっていない側（左側）の斜め後、介助される方と同じ方向を向いて、* 注意！介助者は歩行者の体が大きく触れることがないように

②杖を持つ場合
介助される方の杖代わりになり、右側に位置し、介助される方と同じ方向を向いて、

（2）階段の場合

①杖を持つ場合
介助される方の杖をもっていない側（左側）の斜め後、介助される方と同じ方向を向いて、

②杖を持つ場合
介助される方の杖代わりになり、右側に位置し、介助される方と同じ方向を向いて、

③下り場合
介助される方の杖代わりになり、右側に位置し、介助者は介助される方を向いて、

* ①注意：前に立つときは歩行者の前方を妨げないように気をつける。

* ②注意：手すりがある場合は、杖は介助者が持つて介助が必要な方は手すりを利用する。

次回では、杖歩行のポイントを考えてみたいと思います。

沖縄県介護実習普及センター ☎(098)882-1148

介護実習・普及センター介護教室（初）

聴覚しようがい者の方が「在宅介護実習教室」を受講

6月21日（火）、7月5日（火）、7月9日（土）、7月12日（火）、7月19日（火）の午後6時30分から9時の5日間、読谷村総合福祉センターにて「在宅介護実習教室」を開催しました。

この教室には、読谷村身体しようがい者協会・聴覚しようがい者部の皆さんが受講しました。受講者18名のほか、手話通訳者3名、要約筆記者5名の協力もあり、参加者は仕事を終えた後にもかかわらず、意欲に満ちたパワフルな方々が集まり、終始和やかな雰囲気の中にも真剣に講義を聞き入っていました。

受講者のなかには夫婦そろっての参加もあり、一緒に介護についての現



介護技術のポイントを学んで



和やかな雰囲気での研修会

実問題を考えたり、「要介助者・介助者の体験をとおし、「夫婦愛」を確かめる場面も見られました。また、実際に施設入所中の母親の介助を体験し、その後受講された方が一言「なるほど」と表情豊かに語る場面や、在宅介護を行っている方で「介助される側の体験をしたことがなく、その人の気持ちの理解できた」と語る姿がみられました。

今回主催した読谷村聴覚しようがい者部の教室の閉講後、宜野湾市聴覚しようがい部の方々の要望により、8月7日（日）には受講生11名を対象に「介護教室」を開催することになり、県内全域で介護技術普及講座の活動範囲が広がりをみせています。



沖縄県介護実習普及センター ☎(098)882-1148